【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和7年5月9日(2025.5.9)

【国際公開番号】WO2023/199529
【出願番号】特願2024-514791(P2024-514791)
【国際特許分類】
H04W 64/00(2009.01)
H04W 92/18(2009.01)
【FI】
H04W 64/00 171
H04W 92/18
H04W 64/00 140
H04W 64/00 110

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月28日(2025.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
端末間通信（D2D通信）における測位参照信号の許容遅延を示す情報を他の端末から受信する受信部と、
前記許容遅延に基づくタイミングの前に前記測位参照信号を送信する送信部と、を備える端末。
【請求項２】
前記許容遅延は、前記測位参照信号の優先度に関連付ける
請求項１に記載の端末。
【請求項３】
前記許容遅延に基づいて、前記測位参照信号を送信するための送信リソースを選択する制御部をさらに備える
請求項１に記載の端末。
【請求項４】
前記送信部は、前記許容遅延に関する情報をネットワークに送信する
請求項１に記載の端末。
【請求項５】
前記送信部は、前記許容遅延に関連付けられるＳＲ（scheduling request）を前記ネットワークに送信する
請求項４に記載の端末。
【請求項６】
端末間通信（D2D通信）における測位参照信号の許容遅延を含む情報を他の端末から受信するステップと、
前記許容遅延に基づくタイミングの前に前記測位参照信号を前記他の端末に送信するステップと、を含む
測位方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
開示の技術によれば、端末間通信（D2D通信）における測位参照信号の許容遅延を示す情報を他の端末から受信する受信部と、前記許容遅延に基づくタイミングの前に前記測位参照信号を送信する送信部と、を備える端末が提供される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５１】
以上、本開示について詳細に説明したが、当業者にとっては、本開示が本開示中に説明した実施形態に限定されるものではないということは明らかである。本開示は、請求の範囲の記載により定まる本開示の趣旨及び範囲を逸脱することなく修正及び変更態様として実施することができる。したがって、本開示の記載は、例示説明を目的とするものであり、本開示に対して何ら制限的な意味を有するものではない。
（第１項）
端末間直接通信における位置測位に係る信号を他の端末から受信する受信部と、
前記端末間直接通信における位置測位に係る信号に基づく信号を前記他の端末に送信する送信部と、
前記端末間直接通信における位置測位に係る信号に基づく信号をある時点までに前記他の端末に送信する制御を行う制御部とを有する端末。
（第２項）
前記端末間直接通信における位置測位に係る信号は、位置測位のための参照信号又は位置測位のための参照信号の送信を要求する信号である第１項記載の端末。
（第３項）
前記制御部は、前記ある時点を、特定の条件ごとに与えられるＲＲＣ（Radio Resource Control）パラメータに基づいて決定する第２項記載の端末。
（第４項）
前記制御部は、前記端末間直接通信における位置測位に係る信号と共に通知された時点を、前記ある時点と想定する第２項記載の端末。
（第５項）
前記制御部は、前記端末間直接通信における位置測位に係る信号を受信した時点を、前記ある時点を計測する起点とする第２項記載の端末。
（第６項）
端末間直接通信における位置測位に係る信号を他の端末から受信する受信手順と、
前記端末間直接通信における位置測位に係る信号に基づく信号を前記他の端末に送信する送信手順と、
前記端末間直接通信における位置測位に係る信号に基づく信号をある時点までに前記他の端末に送信する制御を行う制御手順とを端末が実行する測位方法。